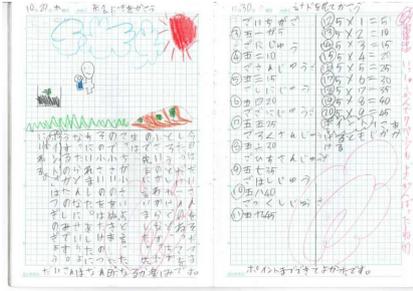


やった!!! 自主学習チャレンジ100 100人達成

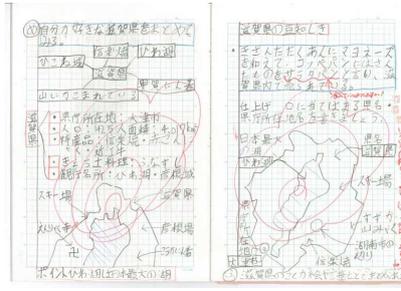
11月号で「100ポイント達成者が50名を超えました。目標は、年間で100名です。」とお知らせしていましたが、1月19日について達成者が100名を超え、2月10日現在で124名となっています。昨年度は30名であったことから今年度の伸びを実感しています。

主体的に学ぶ子の育成を目指し、自ら興味あることやチャレンジしたいことに取り組む自主学習。学校から出される宿題とは別にこうやって多くの子どもたちが取り組んでいることをうれしく思います。

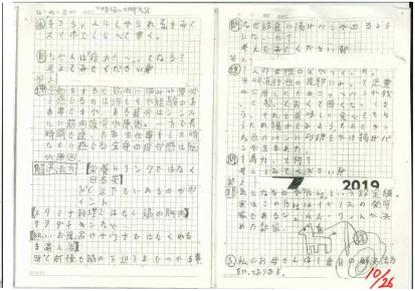
「どんなことをやったらいいのかな?」というときは、HP「チャレンジいしべっこ」をぜひ参考にしてください。



すてきな絵日記と九九(2年)



大好きな滋賀県調べ(4年)



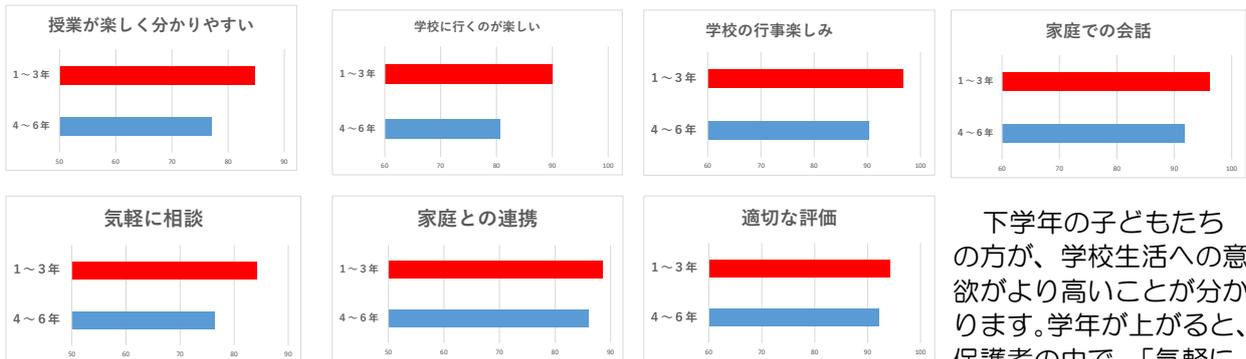
TVで気になったことを調べた(6年)

令和2年度学校評価 その2 (発達段階による比較)

前回に続いて、「学校生活アンケート」の分析です。今回は14の項目を下学年(1~3年)上学年(4~6年)に分けて肯定的な回答をいただいた割合を比較してみました。

*グラフは上段が下学年(1~3年生) 下段が上学年(4~6年)。1目盛り10ポイント。

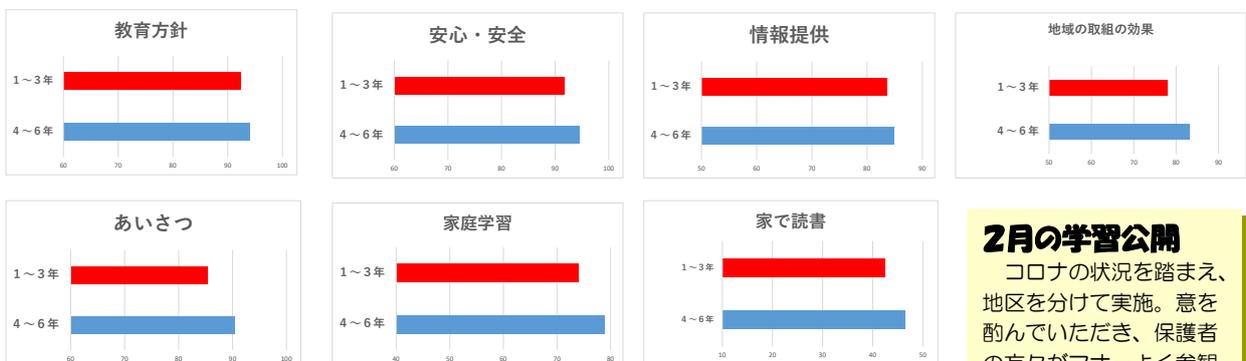
【上学年が下学年を下回った項目】



下学年の子どもたちの方が、学校生活への意欲がより高いことが分かります。学年が上がると、保護者の中で、「気軽に

担任に相談しにくくなった。学校からの連絡がもっとほしい。」と感じられる方の割合が増えています。

【上学年が下学年を上回った項目】



「あいさつ」「家庭学習」「読書」といった全校的に大切にしている取組において、上学年で伸びているということが見てとれます。また、地域の方々の協力による教育活動の効果を学年が上がるにつれ実感していただいています。コミュニティ・スクールの取組が浸透してきている成果であると感じています。

ただ、学校運営協議会に関わる地域のみなさんへのアンケートでは、36%の方が「いしべっ子は地域でのあいさつがまだまだできていない」との回答。今後の宿題と考え、改善策をさまざまな機会に考えていきたいと思います。

2月の学習公開

コロナの状況を踏まえ、地区を分けて実施。意を酌んでいただき、保護者の方々がマナーよく参観してくださっています。

